

様式7 (小地域福祉活動助成金交付事業)

令和 ** 年 ** 月 ** 日

令和 * 年度 小地域福祉活動助成事業 実績報告書

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会
会 長 前 田 正 典 様

申請団体名 〇〇自治会

代表者名 志摩 次郎 印

(自署により押印省略可能)

令和*年度 小地域福祉活動助成金について下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記 載 例

助成金交付額 金 40,000 円

本会より助成を受けた金額を
ご記入ください。

(添付書類)

- 1. 事業報告書 (様式8)
- 2. 収支決算書 (様式9)
- 3. その他 ()

*提出するものへを入れる。

様式8 (小地域福祉活動助成金交付事業)

令和 * 年度 事業報告書

申請団体名 ○○自治会

・ふくし座談会について

1. 開催日	第1回 令和*年*月**日 第2回 令和*年*月**日
2. 開催内容	・地域福祉課題について ・地域福祉活動について

・事業について

1. 事業種別 (該当種別に☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい児者福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/> 児童・子育て世帯への福祉の増進 <input type="checkbox"/> 生活困窮者支援の推進 <input type="checkbox"/> 健康・保険の増進 <input type="checkbox"/> ボランティアの普及・ネットワーク形成及び醸成 <input type="checkbox"/> その他、志摩市地域福祉活動計画を推進するための事業
2. 事業の内容	<p>*地域福祉課題の把握 ふくし座談会を開催し、地域の福祉課題について自治会や民生委員をはじめとするコアメンバー（8名）で話し合いを行った。</p> <p>*地域福祉課題の調査 ふくし座談会にて話し合った福祉課題について、地域住民(200名)へアンケートによる調査を行った。</p> <p>*地域福祉活動の検討 調査結果を分析し、コアメンバー（8名）にて課題に対する活動を検討した。次年度より地域住民の居場所づくりとしてサロンを開催することとなった。</p> <p style="text-align: right;">・実施回数 （ 3 ）回</p>
3. 事業の効果	<p>ふくし座談会が地域の福祉について考える機会となった。 また、ふくし座談会を経て実施したアンケート調査の結果、地域住民（高齢者）を対象とした新たな活動が始まることとなった。</p>

(本記載例の場合)
ふくし座談会の開催回数 (2回) と
アンケート調査 (1回) の合計を記載

(事業を実施した感想でも可)

様式9 (小地域福祉活動助成金交付事業)

令和 * 年度 収支決算書

申請団体名 ○○自治会

1. 収入の部 [単位：円]

科目	決算額	摘要
助成金収入	40,000	小地域福祉活動助成金
自己資金収入	10,000	
合計	50,000	

2. 支出の部 [単位：円]

科目	決算額	摘要	内助成金の充当額
諸謝金	20,000	調査の協力者への謝礼 @2,000円×10名	20,000
消耗品費	20,000	コピー用紙等	15,000
印刷製本費	5,000	コピー代	5,000
飲食費	1,000	会議のお茶	
会場使用料	2,000	公民館使用料	
通信運搬費	2,000	調整のための電話代	
合計	50,000		40,000

※小地域福祉活動助成金は繰越できませんのでご注意ください。